

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	06	目	01
事務事業名	スポーツ少年団大会派遣費補助金交付事業								
担当部署	教育委員会スポーツ振興課	2205000	電話	0187-63-1111			内線	286	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	04:スポーツ、レクリエーションの推進
	施策	01:スポーツ、レクリエーションの充実
	施策の内容	01:スポーツ活動の充実
根拠法令等	大仙市スポーツ少年団大会派遣費等補助金交付要綱・大仙市補助金等の適正に関する条例及び施行規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	スポーツ少年団活動を通じて、心身ともに健全な成長と体力の増進を図ること及び大仙市スポーツ少年団活動の活性化と団員の育成を目的として、大会派遣費を補助する。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	スポーツ少年団指導者及び団員
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	<p>全県大会 自家用車1台につき30円/km(宿泊費の補助はなし)</p> <p>東北大会 予選あり・・・交通費・宿泊費ともに指導者は全額、団員は1/2補助。 予選なし・・・交通費・宿泊費ともに指導者は1/2、団員は1/4補助。</p> <p>全国大会 予選あり・・・交通費・宿泊費ともに指導者は全額、団員は2/3補助。 予選なし・・・交通費・宿泊費ともに指導者は1/2、団員は1/4補助。</p>
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	保護者の大会に参加する経費の負担を軽減し、行政と各団との情報交換などが図られ、事業を行うことによって、各団員とのふれあいの場を設けることができ、子どもたちの心身の健全な発達のために欠かすことができない。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 補助金額	千円	7,235	6,991	6,004	
	②					
	③					
成果 (事業の成果を測る)	① 全県大会補助	件	49	47	34	
	② 東北大会補助	件	19	14	31	
	③ 全国大会補助	件	24	23	30	
投入コスト	決算額		7,235千円	6,991千円	6,004千円	
		一般財源	7,235千円	6,991千円	6,004千円	
	人件費			3,568千円	3,568千円	3,524千円
		一般職員の年間従事人数		0.5人	0.5人	0.5人
		一般職員以外の年間従事人数				
総コスト	(決算額+人件費)		10,803千円	10,559千円	9,528千円	

事業を取り巻く環境	一般企業の協賛による大会が近年増加傾向にあり、それに伴って競技種目が多様化している。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	成長期において子どもたちがスポーツをすることは、個々の心身を健康に守り育てることにおいて大変重要なことである。このことについて行政が支援体制を組んでゆくことは、指導者・保護者との信頼関係を深くし、また、大会参加経費に対しての負担が軽減されることによって団活動に対しての士気高揚が図られる。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	スポーツ少年団の事業推進については、保護者の理解は深く、世代を替えながら時代の流れに沿って活発に行われている。これらの支援体制を組むことによって、行政と団との信頼関係や事業展開の推進が活発になる。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	B
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	スポーツ少年団補助金等の類似事業との統合及び補助金の計算方法の簡略化を図ることにより、わずかではあるが人件費の削減が可能と考えられる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
改善	A 現状のまま継続	今後も継続していくべき事業であるが、補助金の計算方法の簡略化や、スポーツ少年団補助金との統合について検討し、コストの削減とさらなる事業の成果の向上を図っていく必要がある。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	